

第7回技術研修会(現地研修会:奈良市)を開催

□2018年12月20日(木)13時30分～16時、奈良県および奈良市のご協力のもと、供用中の飯合橋(いあいばし)を対象に、第7回技術研修会を開催しました。

□奈良県コンクリート診断士会側からは21名(会員16名、一般5名)、奈良県と管内土木事務所および6市町側からは23名の参加があり、第1部を飯合橋での現地研修、第2部を奈良県文化会館第2会議室での技術研修の2部構成で行いました。

□飯合橋は、2016年度の近接目視点検の結果、判定区Ⅲ(早期措置段階)と判定されたものです。第1部では奈良市から点検結果について説明を受けた後、近接目視点検の着眼点、想定される変状原因、診断時の留意点等について研修や質疑応答を行いました。第2部では飯合橋のように橋暦や設計図面が分からない中で、維持修繕計画を策定するに当たっての留意点(設計時期を推定しての標準図集の活用、補修時の安全性照査、使用環境からの劣化の進行推定、再劣化防止など)について、研修や意見交換を行いました。

□奈良県や関係市町のご協力を得て供用中の橋梁を対象に行う現地研修は、昨年度に引き続いて2回目の開催となりました。これは、奈良県コンクリート診断士会の設立目的である会員の技術力向上や地域貢献に大いに資するもので、2019年度以降も継続して開催できるように、連携を深めていく予定です。



▲ 飯合橋での現地技術研修(第1部・桁下面)



▲ 奈良市からの近接目視点検結果説明



▲ 飯合橋での現地技術研修(第1部・橋面)



▲ 技術研修(第2部)